

151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200

広報

のぼり

No.463 ●平成元年5月15日発行



こいのぼりマラソン

「大空を泳ぐこいのぼりのように、元気に育って」という願いから始められた登別市子ども会育成団体連絡協議会主催の“こいのぼりマラソン大会”

今年で第14回目をむかえました。

さわやかな青空の広がった5月5日3才の幼児から75才のお年寄りまで約400名の市民ランナーが春風の中をかけ抜けました。

記録やスピードを気にせず、ゆっくりとマイペースで完走することが目的のこの大会、いまでは、ゴールデンウィーク中の年中行事として欠かせない存在となりました。

5. 15

市民一人ひとりがマキづくりの主人公

ふるさと創生事業にご参加を

五月十九日
六月三日
ふるさと創生フォーラム開催予定



「一億円てどのぐらいのお金?」「一億円てどのぐらいの事業ができるの?」

素朴な疑問が飛び出したふるさと創生事業推進会議のひとつコマ。

いま、私たちのまちでは、自ら考え、自ら行う地域づくりを合言葉に、市民と行政が一体となつたまちづくりが始っています。

間近に迫つたふるさと創生フォーラム(公開討論会)などを機に、あなたもまちづくりに参加してみませんか。



ふるさと創生事業推進会議

ふるさと創生事業への取り組み

昭和六十三年、国において決定された「ふるさと創生事業」は、国が全国の各市町村に対し、一律一億円を交付することにより、それぞれの地域が自主的・主体的な地域づくりを行えるよう支援する事業です。

これを受けて、いま、全国の市町村では、様々な取り組みが行われています。兵庫県の津名町が、この資金を利用して一億円相当の金塊を作つたという話が新聞紙上を賑わせたのも記憶に新しいことと思います。

地域が、それぞれの歴史や文化・産業や自然の特色を生かし、自らの意志によって自主的な地域づくりを行うことは、この事業の創設をまつまでもなく、当然のことと言えます。



登別市では、「自ら考え、自ら行うまちづくり」を合言葉に、この事業を単に一億円の使い道を決めるだけの事業としてではなく、市民と行政が一体となってまちづくりをすすめる契機と位置づけ、市民参加のもとで将来のふるさとづくりを行っていくため、積極的な取り組みを行っています。

百四十八件の市民アイデア

今年三月、市が実施した「ふるさと創生事業」アイデア募集には、百四十八件にもぼるユニークな市民アイデアが寄せられました。

「登別十大まつりの創設」とか「手作りいかだ競争」、「鬼の展望台建設」など楽しく夢のある提言の二つひとつに、市民の皆さんのまちづくりに対する熱意と強い意欲が感じられます。

市では、市民の皆さんから寄せられたアイデアを参考に、行政と市民が一丸となつた事業の推進を目ざし、ふるさと創生事業推進会議での議論、二回の創生フォーラムの開催予定等を通して、六月を目途にソフト事業を中心に選択していきたいと考えています。

ふるさと創生事業推進会議

四月十七日、市民会館で第一回ふるさと創生事業推進会議が開催されました。

この推進会議は、市民の皆さんに創生事業の企画・立案から実践方法までを検討していただくため、市が、地域活動やイベントなどに積極的に取り組まれている方々に呼びかけを行い結成されたものです。市内各界各層から約五十名の自主的な参加をいただき、自由で柔軟なまちづくり論議が交わされています。

第一回目の会議では、メンバーを四つのグループに分け、それぞれの代表

者などの選任や、会の進め方などが話し合われ、それぞれの討議スケジュールが決定されました。グループの中には、ゴールデンウィーク中の四月二十八日夜七時から会合をもつところもあり、まちづくりへの熱意のほどがうかがわれます。

また、五月十二日の代表者会議では、各グループの討議経過や事業の絞りこみ方法など熱い議論が交わされました。市民自らの発意と自主的な運営により、市民が直接まちづくりに参加する手法は、このまちでは初めての試みとして注目されています。

ふるさと創生フォーラムにご参加を

市では、この事業への市民参加をより広い範囲で図るため、次のとおり公開討論会(ふるさと創生フォーラム)を開催します。

事業への取り組み・進め方などパネルディスカッションを通じ議論を深めると共に参加する皆さんの意見を交換を行い、真の意味で、まちづくりを市民の皆さんと行政との共同作品にしていきたいと考えています。

お気軽にご参加ください。

ふるさと創生フォーラム

第1回 5月19日 午後6時
第2回 6月3日 午後2時

会場 いずれも市民会館で行います。
※ふるさと創生事業・フォーラムについてのお問い合わせは、市役所企画調整室まで(TEL852111内線221・223)

新たな観光発展の核として

2大プロジェクト始動

登別伊達時代村



江戸時代へタイム・スリップ

忍者トリデや武家家敷・商家の街並みが再現され、一步足を踏み入ると、まるごと江戸時代。

登別マリンパーク



夢とロマンがいっぱい

北欧イメージの街並みとダイナミックな海の生きものたち。楽しさあふれる海洋レジャー基地は、来年夏のオープンを目指します。

「元登別の新たな発展の核として期待される2大プロジェクトがいよいよ着工の運びとなりました。山岳宿泊拠点の登別温泉を強力に補完する機能をもつこれらの施設は、観光産業ばかりでなく、新たな雇用の創出や地域経済への波及効果など幅広い分野に効果が期待でき、将来の登別市発展の起爆剤となる可能性を秘めています。」

また、これらの計画に連動して、いま、地元商店街を中心に、市民自らの発想によるまちづくり気運や商店街近代化の気運が高まりを見せ、新たな時代への鼓動が聞こえてきます。

マリンパーク・平成二年夏 伊達時代村・平成三年春 オープン予定

登別マリンパークの建設計画については、市の広報紙でもたびたびご紹介してきましたが、いよいよ基本計画も確定し着工の運びとなりました。

四月二十六日、建設予定地の登別東町一丁目関係者約二百名が集まり起工式が行われ、工事の無事が祈願されました。

この登別マリンパークは、市などが出資する第三セクター「北海道マリンパーク」が、市の都市計画公園である「北海道ビーチパーク」の中で特許事業として行う事業。総工費六十二億円、敷地面積五・八㊦。北欧風のイメージで統一された街並みとデンマークの古城をモデルにした海洋生体館を中心に夢あふれるレジャーランドを建設しようとするものです。

地上三階、地下一階の海洋生体館には、深さ二・五㊦の暖流水水槽（六百二十㊦）と寒流水水槽（三百㊦）が設備され、約二百種、千四百点の魚が展示されます。また、巨大水槽の中には二本の水中トンネルも造られ大型のサメやエイなどを間近に観察できる迫力満点の海底散歩が楽しめます。そのほ

か、六百人収容のショープール二基、レストラン・売店などが配置され、来年七月のオープンを目指します。

一方、市が誘致をすすめていた登別伊達時代村の起工式も五月十二日、中登別町四十二番地の建設予定地で行われました。

建設にあたるのは、同様の施設を栃木県の鬼怒川温泉にも開いている大新東グループの現地法人北日本大新東。こちらは、平成三年春のオープンを目指しています。

登別伊達時代村は、江戸時代の街並みや文化をそっくり再現し、歴史探訪をまるごと観光に役立てようとするものです。

全体計画では、約二十八万平方㊦の敷地に、約百二十億円をかけ「歴史教育ゾーン」「歴史文化ゾーン」「歴史体験ゾーン」などを建設する計画となっています。

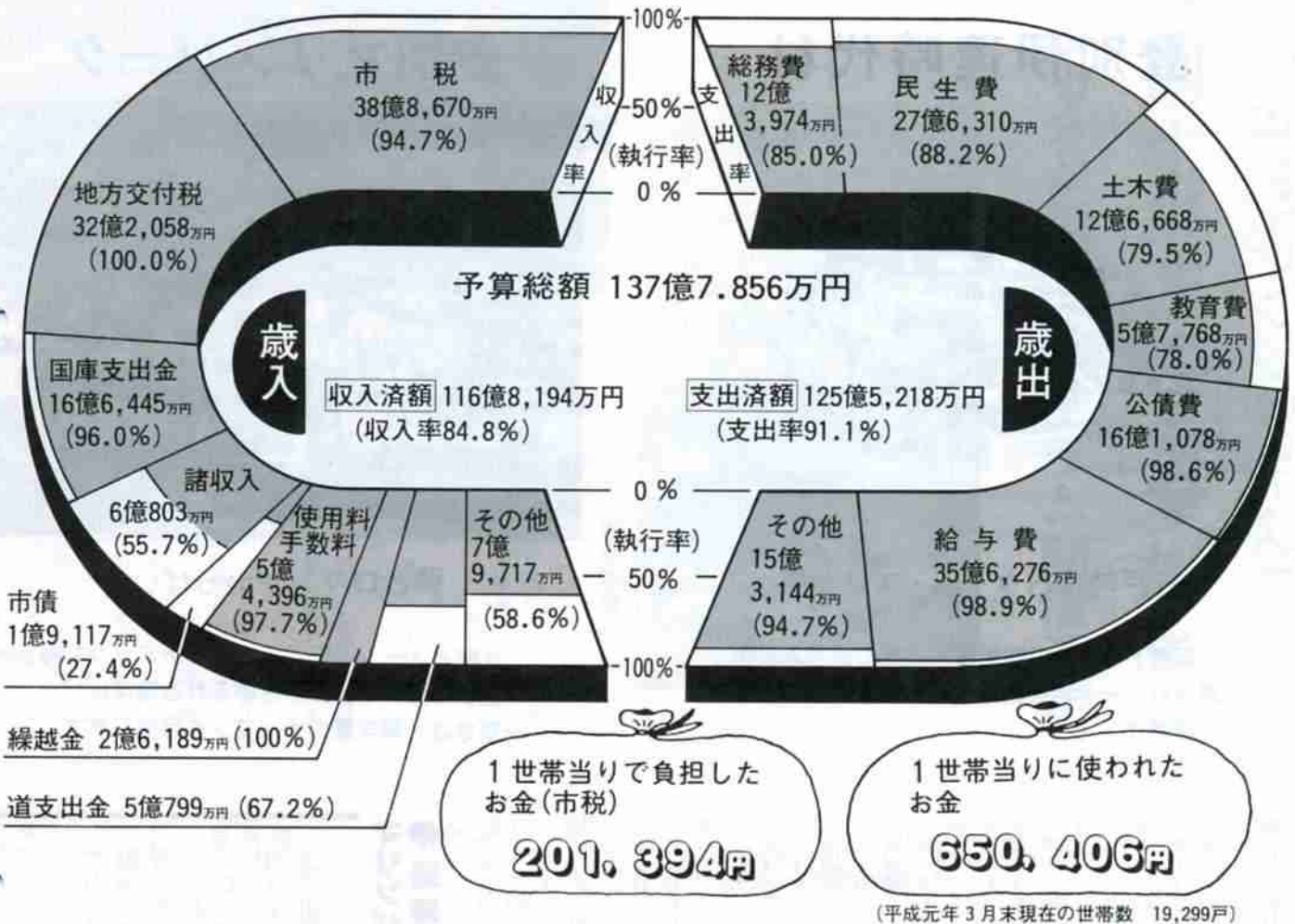
今回、着工されたのは、そのうち第一期計画として忍者トリデや武家屋敷、商家などこの計画の中心となるゾーン。総工費約五十億円が予定されています。

所事情

昭和63年度 一般会計予算執行状況

市がいろいろな事業を進めていくなかで、それに要する費用がどのように調達（歳入）され、どのように使われたか（歳出）をお知らせし、市の台所事情を正しく理解していただくため、毎年2回、財政事情の公表を行っています。

今号では、昭和63年度（平成元年3月31日現在）の市の台所がどのようになっているか表とグラフでお知らせします。また、昭和63年度の事業で完成、実施した主なものについて写真で紹介いたします。



① 中央通り歩道舗装事業

新登別大橋の完成、オロフレトンネルの開通などにより一段と交通量の増えた中央通り。児童などの交通安全確保のため昭和63年度から舗道設置事業に着手しました。昭和63年度は、事業費6,200万円、延長252mが完成。

昭和54年度から実施している西富岸川の河川改修事業。昭和63年度は、道が実施した西富岸橋の新設かけ替え事業に合わせ、橋の両サイド54mの改修を行いました。事業費3,600万円（道への負担金含む）

① 西富岸川河川改修事業

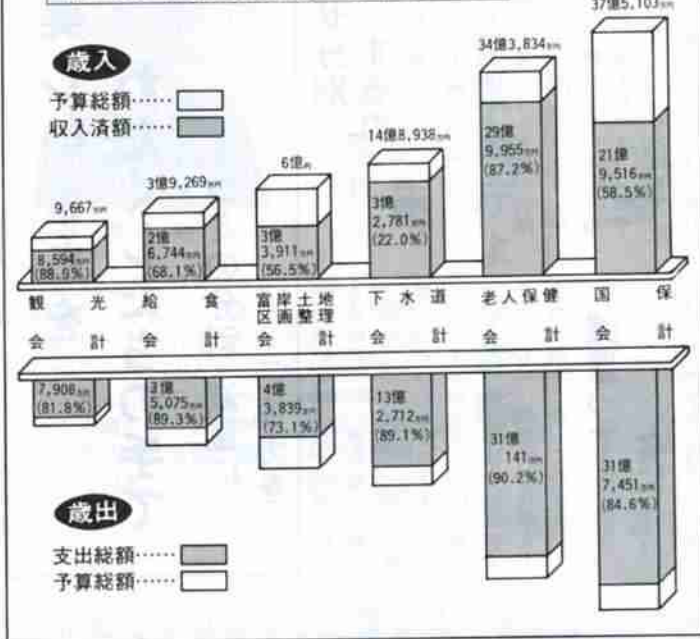


① 新生地区老人憩の家「虹の家」

市内で41番目の老人憩の家として、新生町1丁目に「虹の家」が完成しました。地域のお年寄りや市民の交流拠点として有効に利用されています。

市の台

昭和63年度特別会計予算執行状況



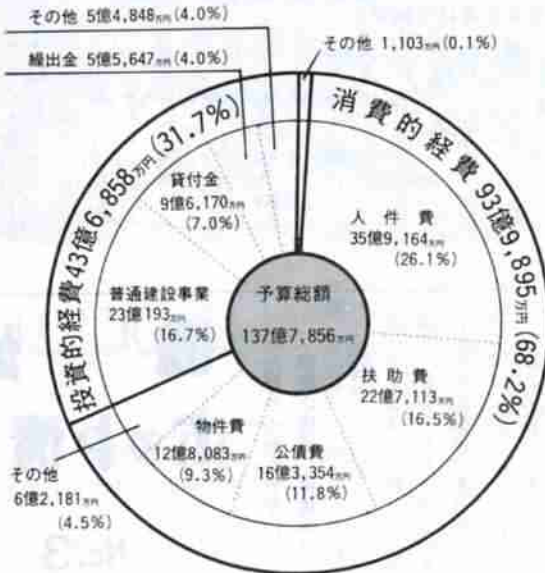
昭和63年度水道事業会計予算執行状況

区分	予算額	執行額	執行率 (%)
収入の総額	6億3,900万円	6億4,296万円	100.6
補てん充当額	9,617万円	8,360万円	86.9
計	7億3,517万円	7億2,656万円	98.8
支出総額	7億7,317万円	7億1,544万円	92.5

市有財産の内訳

土地	5,290,683㎡
建物	225,345㎡
預金・現金	10億1,233万円
債権	3億305万円
その他	1億7,101万円

性質別一般会計歳出予算内訳



市債の借入先別内訳 一時借入金



平成2年度一部供用開始を目指し、63年度では約6億3,400万円をかけ、管理本館、最終沈澱池、オキシデーションディッチ施設などの建設と約6億5,900万円を延長6,400mの管渠敷設を行いました。

① 公共下水道事業



① 消防自動車購入事業

消防力の強化を図るため、水槽付消防ポンプ車と化学消防ポンプ車を導入しました。水槽付ポンプ車は、いち早く火点に接近でき直接放水できる機動力を備え、化学車は、油などの危険物火災に威力を発揮します。事業費4,970万円。

昭和60年度から実施しているこの整備事業。63年度迄で約7,000万円が投じられました。63年度は、登別温泉ならではの湯の噴水「噴湯」の建設と地獄谷の実測図、園地案内板を設置しました。事業費1,000万円。

① 登別温泉地域総合整備事業



美しいまちを わたくしたちの手で

—ゴミの分別・減量に —ご協力を—

なぜ分別 するの？

ゴミを大きく分けると「燃やせるゴミ」と「燃やせないゴミ」の2つに分類されます。

「燃やせるゴミ」とは、台所の生ゴミや、紙くずなどをい、火をつけて燃えるものでも、有害な物質を出すものは、「燃やせないゴミ」として分けま

す。「燃やせないゴミ」は、おもむね次の三種類に分けられます。

- ①有害ゴミ(乾電池・体温計・蛍光灯など有害な化学物質を含んだもの)
- ②大型ゴミ(家具・電気製品・自転車など)
- ③その他(ガラス・セトモノ類・衣類・ふとん・マット・牛乳パック・石油化学製品など)

これらを分別し、「ゴミ」として定められた日に搬出しますと、有害ガスの発生や、焼却炉の損傷を防止することができます。より効率的で、衛生的なゴミ処理が可能となります。

また、燃やせるゴミを、燃やせないゴミに混入した場合、焼却すると5分の1になる「焼やせるゴミ」が、そのまま最終処分場に埋められることとなり、

処分場の耐用年数が大幅に短くなるばかりか、悪臭などの原因となり、カラスなどが増える要素のひとつにもなります。

ゴミを分別することは、わたくしたちの生活環境を快適にするとともに、効率的な行政をすすめる基本となっております。

減量って なに？

ゴミの減量を一言でいえば、「使用できるもの」をゴミとして出さないということにつきま

す。使用できるものは、再生資源として積極的なリサイクルをおすすめします。

ある町内会では、ゴミの減量と町内会活動資金づくりをかねて、積極的な廃品回収・リサイクル運動に取り組んでいます。

ゴミを分別し、減量して再利用をすると、わたくしたちの生活の中のムダが無くなり、真の意味での豊かさにつながります。限りある資源を有効に使うことは、後世に豊かな生活を残すために欠くことができないばかりか、いま、わたくしたちが進んで実行しなければならぬテーマとなっております。

市民の皆さんのご協力をお願いします。

「ゴミ出しルール」 分別はもちろん次のルールを守りましょう。



水をきって出す



スプレーのかんなどはくぎなどであなをあけて出す。



決められた日と時間を守って出す



われたガラスやセトモノは、空箱に入れるか厚紙にきちんと包んで「キケン」と書く。

国体 ホット情報 No.3

あたたかくおもてなし
「市民応援団」募集中!!

「国体成功市民の会」では、全国から集まる二百八十人の選手・監督を温かく迎え励ます「市民応援団」を募集しております。

活動内容は、○駅などでの款送迎○試合の応援○市内の観光ガイド○歓迎パーティーなどです。お申し込みをお待ちしております。

また、県人会などを市内で結成されている方がおられますら、ご連絡願います。

大会旗・炬火リレーの
リハーサル日を変更します
広報のぼりべつ五月一日号
くらしのガイドでご案内して
おりました、「大会旗・炬火
リレーランナー」のリハーサル
実施日を「7月30日」に予
定しておりましたが、「7月
23日」へ変更させていただきます。

この国体ホット情報に関する、申し込み、問い合わせは
TEL 2111 内線 224 国体
事務局まで

市民バレー・バドミントン大会 参加者募集

国体成功市民の会では、新しいスポーツ「バレー・バドミントン」の普及を進めるため、第1回市民バレー・バドミントン大会を開催します。

このスポーツは、バドミントンにバレーボールのルールを取り入れ、誰でも気軽に楽しむことができるものです。

使用する道具は、ラケット・テニス用ラケットとシャトル。ルールは、一チーム四名でプレイし、バドミントン用ネットの両側に分かれ、自分のコート内のシャトルを三打以内で相手のコートに返すという簡単なものです。

ぜひ、ご参加ください。

▽日時 6月11日午前10時

▽場所 登別中学校
中央・青少年会館

▽参加料 無料

▽チーム編成 一チーム六名
(補欠二名を含みます)

▽申し込み期限 5月31日
(電話にて受け付けます)



バドミントンを楽しむ仲間



野火や林野火災に 注意しましょう!

この時期は、空気が乾燥し強風が吹くなど、野火が発生しやすい季節です。山菜取りや魚釣りなどで入林する方は、次のことに注意し、火災を未然に防ぎましょう。

●ゴミ焼きなどについての注意
○風の強い時には、たき火やゴミ焼却などはしないようにしましょう

○残り火の処理をきちんとしましょう

○一度にたくさん燃やさないようにしましょう

●入林者への注意と野火発生防止上の注意

○たばこの吸いがらの投げ捨てをやめましょう

○入林するときは、携帯用灰皿を携行しましょう

○子供には、マッチやライターなどで、遊ばせないようにしましょう

○自分が所有する空地は、枯れ草の除去など適正な管理をしましょう

火の用心

青少年のふるさと運動 促進事業にご参加を

市教育委員会では、青少年地域活動のふるさと運動促進事業として明るく住みよいまちづくりを推進するため積極的に郷土づくりに参加する青少年少女を募集しています。お気軽にご参加ください。

▽学習内容 ふるさとを学ぶ活動、地域の清掃活動、花・草・木を育てる運動、仲間をつくる活動

▽対象 市内に居住される小学3年生以上中学3年生以下の児童生徒。

▽受講料 無料

▽申し込み先 市内各児童館・児童センターへ5月30日までお申し込みください。

※なお、詳細については市社会教育課(TEL851100内線21)までお問い合わせください。

科学技術庁より表彰

ノースジャパン研機

牧野氏



牧野 勉氏

昭和53年にアスファルトを溶かして再利用できるマシンを考案し、社会問題となっている環境汚染の防止と有限資源の再利用という観点から再生アスファルトプラントマシンを発明し、その実績が高く評価され、平成元年度の科学技術庁主催の産域における創意工夫功労者としてこのたび表彰されました。

HOW TO TENNIS



テニスクラブ 会員募集

カルルス・サン・スポーツランドではテニスクラブの会員を募集しています。お気軽にご参加ください。

▽種目 硬式テニス

▽入会費 入会金 2000円
年会費 3000円

※入会ご希望の方は、カルルス・サン・スポーツランド(TEL83148)までお問い合わせください。

消費税を 勉強しましょう

登別消費者協会では、5月30日の「消費者の日」を記念して消費税に関する学習会を実施します。

▽内容 消費税に関すること

▽日時 5月25日(木)
午前10時から正午まで

▽場所 市民会館(視聴覚室)

▽定員・受講料 50名・無料

▽講師 星野武治さん(北海道消費者協会)

▽申し込み・問い合わせ 登別市消費者協会(TEL83307、火曜日、木曜日のみ受付)または遠藤さん(TEL2929)

会員募集

あひるの会
親と子の文化の会

あひるの会は、絵本や童話などを中心とした読書グループで、お母さん方を対象にしています。お気軽にご参加ください。

▽例会日 毎月第2土曜日

▽時間 午後2時~午後4時

▽場所 市立図書館3階会議室

▽会費 毎月300円

また、親と子の文化の会では、子供たちが愛と希望、知恵と勇気をもって成長するように願い、活動しているグループです。

そのため、人形劇やコンサート、映画、読書などの催しものを企画し、心と心のふれあいや語り合いを大切にしています。

みんなで参加して児童文化を創りましょう。

▽問い合わせ いずれの会
TEL5289) 酒井さんまで



自動車税の納期限は 5月31日です

自動車税は、毎年4月1日現在で陸運支局に登録されている自動車の所有車の所有者に課される道税です。忘れずに納期限内に納めましょう。

なお、納税通知書が届かないときは、胆振支庁に連絡をして、納税通知書の交付を受けて納めてください。

納税には便利な口座振替をご利用ください。

▽問い合わせ 胆振支庁徴収課
(TEL9131)

し尿汲取手数料が 変わります

消費税法の施行に伴い、市のし尿汲取料金にも消費税が課税されますので、6月1日から次のとおり料金を改定させていただきます。よろしくご理解をお願い致します。

○現行36円当り百二十円を百二十四円に
なお、料金改定に伴い、証紙の金額も別表のとおり変更になります。

消防署から

緊急車輛走行時
には、道をゆず
ってください

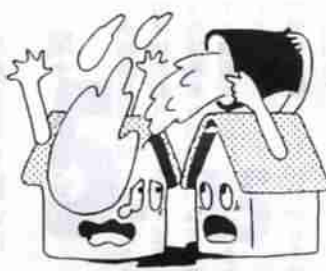
消防車や救急車は、市民の生命や財産を守るため一刻も早く現場に到着する必要があります。道路交通法では、消防車や救急車などの緊急車輛が接近した場合に、一般車輛は道路左側に車を寄せて、その進路をゆずらなければなりません。車内でカーステレオやラジオなどの音を大きくしてしまいますと、サイレンの音が聞えづらくなり、気がつかない場合もあります。

他人事とは考えずに、御協力をお願い致します。

また、狭い道路、わき道などに駐・停車をされる場合、万一のとき、通行できないことも予想されます。

車を運転される方は、道路の状況をよくたしかめてから、駐・停車をしてください。

消防署から



無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご利用ください。札幌弁護士会室蘭支部の弁護士2人が相談をお受けします。

なお、相談ご希望の方は、あらかじめお申し込みください。

▷日時 6月3日(土)午前9時から

▷場所 鉄南ふれあいセンター

▷定員 16人(定員になり次第締め切ります)

▷申し込み・問い合わせ 市民課 市民生活係 (TEL2111内線323)

※裁判や調停中のものは、お受けできません。

シャトル舞う熱き感動湯の里に



はまなす国体 登別市バドミントン競技 秋季大会まであと125日



■競技会場 日本工学院北海道専門学校体育館 ■大会期間 平成元年9月18日～21日

市民啓蒙

ふれあう心の合言葉

「自然を愛し力を合わせて、緑と空気と太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう。」

健康相談

▼実施月日

6月1日(木) 鷺別公民館
6月2日(金) 鉄南ふれあいセンター

▼受付時間

6月7日(水) 婦人センター
午前の部 10時～10時30分
午後の部 1時～1時30分

▼内容

午前：成人病、妊婦、家族計画、幼児(7ヶ月児を除く)の各相談。午後：7ヶ月児の相談(63年10月出生児)。

▼用意するもの

母子健康手帳、バスタオル
※婦人センターでの健康相談は、午前中に午後の分も行います。

予防接種

●三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)

▼対象者 生後24ヶ月から48ヶ月未満の幼児。
▼接種の方法 第1期：3週間から8週間で3回接種。第2期：1期終了後12ヶ月から18ヶ月までの間で1回接種。

●ポリオ生ワクチン

▼対象者 生後3ヶ月から48ヶ月未満の乳幼児。(なるべく18ヶ月までにすませること)

▼接種の方法

6週間以上おいて2回投与。

＜予防接種日程表＞

会場	受付時間	予 防 接 種 名					
		三種混合	ポリオ生ワクチン	ツ	反	B C G	破傷風
市民会館	13:00～13:30	6月22日					
鷺別公民館	13:00～13:30	6月20日		6月7日	6月9日		
登別公民館	13:00～13:30	6月2日 6月28日					
登別厚生年金病院	14:00～14:20	6月2日 6月28日					

●ツベルクリン反応

▼対象者 生後3ヶ月から48ヶ月未満の乳幼児。
▼接種の方法 1回接種

●BCG

ツベルクリン接種2日後、反応が陰性の人
▼対象者 乳幼児期に三種混合または、二種混合をうけていない希望者。

●破傷風

▼接種の方法 第1期：4週間から8週間の間隔で2回接種。第2期：1期終了後6ヶ月から18ヶ月までの間で1回接種。

◎接種料金

1回380円
●麻しん(はしか)
▼対象者 生後12ヶ月から42ヶ月未満の幼児。

▼接種の方法

1回接種
※満1歳になりしだい各家庭へ麻しんの受診券を送付していただきますので、各自病医院にて接種を

受けて下さい。なお、受診券が届かなかつた方は、保健衛生課(TEL52111内線249)へご連絡ください。

●接種上の注意

●子供の健康状態の良好な時に接種する。●通院の方は、主に接種の可否を確認する。
●接種前日は入浴し、当日は清潔な肌着を着用する。●体温は必ず家で計つてくる。●母子健康手帳を持参する。●できるだけ親が付き添う。●接種前後に激しい運動をさせない。●接種当日は入浴させない。

●次に該当する場合は、予防接種を受けることができません。

●発熱または著しく栄養障害がある。●心臓・腎臓・肝臓の病気がある。●アレルギー体質または副反応を起こしたことがある。●最近1年くらいの間、けいれんやひきつけを起こしたことがある。●ポリオ、風しん、麻しん、BCGの予防接種を受けて1ヶ月を過ぎていない。●その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある。

3歳児健康診査

▼内容

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による心身の発育状況、尿検査、歯科検診、栄養指導、生活指導。

▼対象児

昭和61年2月1日から昭和61年5月31日までの出生児と前回受診未れの幼児(昭和60年10月1日から昭和61年1月31日までの出生児)

▼用意するもの

母子健康手帳

＜3歳児検診日程表＞

月 日	会 場	受付時間	対 象 地 区
6月1日(休)	労働福祉センター	10:00～11:00	札内町・新栄町・幸町・磯谷町・緑町・深馬町・常盤町・中央町
		13:00～14:00	柞木町・富士町・片倉町・新川町・飯山町・柞木町・川上町・青葉町・若山町1,2丁目

※他の対象地区については、後日お知らせいたします。

献血にご協力を

次のとおり街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

▼月日 6月2日(金)
▼時間 午後1時～午後4時30分

▼場所

室蘭生協観別ストア前

危険物取り扱いに

関する講習会

消防法第13条23の規定による危険物の取り扱い作業に従事する危険物取り扱い者の保安に関する講習が左記により実施されます。

▼講習開催地(近隣分)

室蘭市(8月8日、9日)
▼受講手数料 四〇〇〇円(北海道収入証紙)

▼申請書は登別市消防本部予防係にあります(TEL52111内線363)

▼申請書の提出先は(出)北海道危険物安全協会連合会です。

▼その他

受講当日は印鑑、受講票、危険物取り扱い免状を持参して下さい。



歌謡教室よりお知らせ 登別市歌謡協会

登別市歌謡協会では、初めて歌われる方、もっと上手になりたい方のために歌謡教室を開催します。お気軽にご参加ください。
▷講師 谷口稔さん(日本レコード出版ディレクター)
▷受講料 500円(テキスト代を含む)
▷申し込み・問い合わせ 登別市歌謡協会事務局(住所 常盤町3丁目33番地1 TEL55100 島沢満義)まで官製ハガキでお申し込みください。

会 場	日 程	時 間
市民会館	6月1日	午前 10時～12時
	6月15日	
	6月22日 6月29日	
鷺別公民館	6月1日	午後 1時～3時
	6月15日	
	6月22日 6月29日	